

本プロジェクトは、本学の教育目標である「知と実践の融合」に表される人材養成につなげるために、産学連携のもと実際の企業から与えられた課題に対し、解決策を提示する学習法（PBL*）を取り入れています。企業側からは『CSR報告書の作成』という課題をいただき、三学部の学生が担当企業について、さまざまな角度から調査をした上で、その企業にふさわしいデザインとコンテンツをもった『CSR報告書』を作成します。*PBL=Project-based-learning



課題提供企業一覧（2008年度～2018年度）

株式会社鷺宮製作所／株式会社牧野フライズ製作所／株式会社Advanex／SMK株式会社／愛知産業株式会社／並木精密石株式会社／オリエンタルモーター株式会社／長野計器株式会社／スガツネ工業株式会社／大陽ステンレススプリング株式会社／株式会社フォーバル／リオン株式会社／稻庭香料株式会社／株式会社コガイ／株式会社不二製作所／株式会社ミクノ／エバオン株式会社／星光PMC株式会社／東光電気工業株式会社／株式会社TOZEN／株式会社井口機工製作所／三栄香料株式会社／三球電機株式会社／鈴茂工株式会社／マサル工業株式会社／三笠製薬株式会社／コトブキヤーディング株式会社／新日本ビルサービス株式会社／東亜化成工業株式会社／株式会社ジフワ／日本パブリーン株式会社／株式会社アルプス研／安立計器株式会社／株式会社木村技研／大幸薬品株式会社／株式会社大崎コンピュータエンヂニアリング／日本コントロールシステム株式会社／日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社／養命酒製造株式会社／しのはらラテラスサービス株式会社／株式会社スキプレシオン／株式会社ダイワハイテックス／東成エレクトロビーム株式会社／エーザイ株式会社／カインズ株式会社／株式会社ラクーン／株式会社リガルジョイント／株式会社タカギ／日本ケミファ株式会社／株式会社ニコフ／株式会社野上技研／サトーホールディングス株式会社／株式会社ジー／株式会社生産／東芝三菱電機産業システム株式会社／株式会社丸和製作所／日本アイ・ビー・エル株式会社／水上印刷株式会社／ロート製薬株式会社／株式会社インダ／アイリストヤマ株式会社／株式会社共立メンテナنس／東芝ブランチシステム株式会社／日本リック株式会社／協栄産業株式会社／株式会社丸高工業／株式会社キカ／株式会社協進印刷



課題提供企業担当者の声

学生の堂々とした
言動や若い感性は
非常に印象に残りました

株式会社丸高工業
代表取締役
高木 一昌 様

“大学生”といえば、真面目ではあるが自ら発言することは少ない受け身の姿勢をイメージしていましたが、このゼミによって、それはガラリと変わりました。CSR報告書作成に向かい、弊社の経営理念や方針をよく勉強した上で導き出した「一丸となって高みへ」というメッセージは、本当に丸高工業をよく表してくれたと思います。企業においては課題を与えられるのを待つのではなく、自ら行動する力が必要となってきます。先入観や固定概念にとらわれずイノベーションに挑戦していくほしいと思います。

Q. このゼミを受けて良かった点は何ですか？

◆◆> 純粋に自分の成長を実感できた点です。活動期間中、企業の方やメンバーの意見に触れる度に新しい発見があり、それと同時に自分の視野が広がった感覚を得ました。そんな日々の新鮮な学びを、ブログを用いて文章化していくからこそ、自分にとっての新たな知識として着実に吸収できたのだだと考えています。

■■> フェーズ2の学部横断チームになったばかりで、チームの議論が停滞していた時に、勇気を出して議論の方向性を示す選択肢を提案することでチームの大きな一歩につなげることができました。仲間から「あなたのこういうところが良かった、助かった！」と言ってもらうことができ、自分に自信を持つことができるようになりました。

Q. 就職活動で役に立ちますか？

◆◆> フェーズ1における人文学部の課題であった企業文化に関する調査や、フェーズ2でのCSRに関する学びを通じて、企業それぞれが持つ社会的意義や掲げる理念により注目するようになりました。ホームページ上の情報のみで満足せずに、多くのインターンシップ、企業説明会に積極的に足を運ぶことができたのは、その重要性を横断ゼミで痛感したからだと感じています。

■■> 就職活動の際は、「自分はどんな仕事をしたいのか」「自分はどんな人間なのか」を明確にするために「自己分析」を徹底的に行う必要がありますが、毎授業後にSNSに書いたブログとキャリアコンサルタントとの面談が非常に役立ちました。自分を振り返るだけでなく、客観的に評価してもらえる機会がたくさんあったことで自分の長所・短所を具体的に知ることができました。

これまでの履修生の主要就職先はWEBをcheck!

三学部横断型ゼミナール・プロジェクト



飛躍的成长を保証するゼミ、受講せずに「ゼミの武藏」は語れない。

